

業績のご報告

▶ Performance Report

● 当期の業績概要

当期における内外経済は、東日本大震災の影響、欧州債務危機を発端とした世界景気の減速、歴史的な円高水準の定着、タイの洪水による影響などにより、景気の先行きは極めて不透明な状況のまま推移しました。

そのような状況下、当期の売上高は、前期比11.7%減の3,016億円となりました。セグメント別内訳は、コンシューマが前期比14.6%減の2,153億円、システムが前期比7.3%減の431億円、その他が前期比0.3%増の432億円となりました。

時計は、世界的なブランド戦略の強化により、「G-SHOCK」、[EDIFICE]といったブランドが、中国や北米などで好調に推移し売上を拡大しました。また、「Baby-G」、

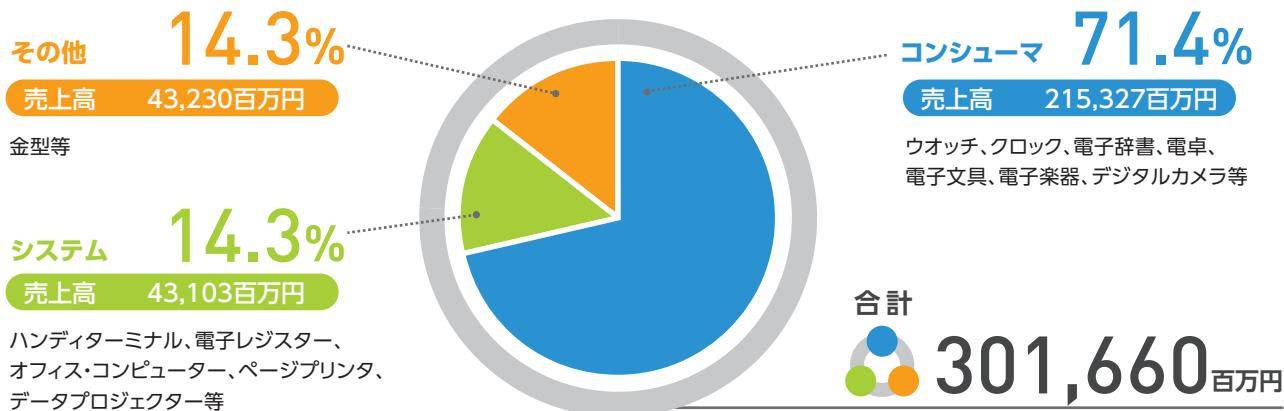
[SHEEN]といった女性向けブランドのラインアップを拡充し、売上を拡大しました。電子辞書は「EX-word」シリーズの販売が学生向けモデルを中心に堅調に推移し、引き続き、国内で圧倒的なNo.1シェアを確保しました。

損益につきましては、コンシューマは時計や電子辞書が引き続き高収益性を維持した結果、営業利益は146億円、営業利益率は6.8%となりました。システムは法人需要の冷え込みなどにより、23億円の営業損失となりました。その他は2億円の営業利益となりました。この結果、調整後の連結合計として90億円の営業利益となりました。また、経常利益は69億円、当期純利益は25億円となりました。

主要財務指標(連結)

科目	連結会計年度		
	2011年度	2010年度	2009年度
経営成績			
売上高	(百万円) 301,660	341,678	427,925
営業利益	(百万円) 9,065	12,042	△ 29,309
経常利益	(百万円) 6,980	11,702	△ 25,082
当期純利益	(百万円) 2,556	5,682	△ 20,968
1株当たり当期純利益	(円) 9.51	20.90	△ 75.58
財政状態			
総資産	(百万円) 366,212	402,456	429,983
純資産	(百万円) 149,254	153,232	168,857
1株当たり純資産	(円) 554.22	569.57	577.38
自己資本比率	(%) 40.7	38.0	37.3
D/Eレシオ*	(倍) 0.75	0.90	0.65
その他			
設備投資額	(百万円) 6,678	6,183	10,068
減価償却費	(百万円) 6,060	7,674	12,657
配当金	(円) 17.00	17.00	15.00

セグメント別の状況



次期の業績見通し

今後も全く予断を許さない厳しい環境下において、当社は独自技術を活かした製品の積極的な世界展開を推進し、業績の大幅向上を目指します。主な施策は以下の通りです。

- ① 時計事業は、世界的なブランド戦略を強化し、さらなる事業拡大と高収益性の維持を図ります。
「G-SHOCK」、「Baby-G」、「EDIFICE」、「OCEANUS」、「PRO TREK」、「SHEEN」といった6ブランドを中心に、ラインアップを充実させ、世界市場における積極的なプロモーションを展開し、高付加価値化を図ります。
- ② 電子辞書事業は、国内市場においては、小学生向けモデルを投入し、引き続きNo.1シェア維持と高収益性の維持を図ります。また、海外市場においては、中国等での拡販を行い、事業拡大を図ります。

- ③ 海外販売体制の強化により、新興国などの海外市場で販売拡大を図ります。
- ④ 新規事業は、「リスト端末事業」、「デジタル絵画(3D)事業」、「デジタルサイネージ事業」の研究及び事業化を図ります。

2012年度業績見通し(連結)

売上高	3,200億円	(前期比 +6.1%)
営業利益	200億円	(前期比 +120.6%)
経常利益	170億円	(前期比 +143.6%)
当期純利益	100億円	(前期比 +291.2%)